

略記号や訳例など

1. []で表記するもの

①次の品詞

[副]=副詞

[関代]=関係代名詞

②動詞の法

[条]=条件法

[可]=可能法

[命]=命令法

2. []を使用しないもの

①人称

単=単数

複=複数

1=1 人称

2=2 人称

3=3 人称

②比較変化

比=比較級

最=最上級

3. その他

[分構]=分詞構文

[時構]=時相構文

=:同意語

⇔:反意語

⇒:関連語

A < B: A は B から変化・派生。

A/B: A と B は交替可能な形

……: 引用における省略部分

③名詞の格

[複]=複数

[主]=主格

[主対]=主格・対格

[属]=属格

[2 属]=第 2 属格

[属対]=属格・対格

[対]=対格

[分]=分格

[内]=内格

[出]=出格

[入]=入格

[接]=接格

[奪]=奪格

[向]=向格

[様]=様格

[変]=変格

[具]=具格

[共]=共格

[欠]=欠格

*「単数」「単数主格」は原則として表記しない。

③所有接尾辞

所接=所有接尾辞

③動詞

否=否定

能=能動

受=受動

現=現在

過=過去

完=完了／現在完了

過完=過去完了

現分=現在分詞

過分=過去分詞

動分=動作主分詞(行為者分詞)

否分=否定分詞

A 不=A 不定詞(第 1 不定詞)

MA 不=MA 不定詞(第 3 不定詞)

e 不=e 不定詞(第 2 不定詞)

動名=動名詞

4. 複合語

複合語は説明の中では「-」で構成要素に分けて表記。

例:pää-kaupunki

5. 訳例

できるだけフィンランド語の語順通りの日本語を提示してある。小さな意味のまとまりは「|」の記号で分け、さらに大きな意味のまとまりを示した方がよい場合には[]で示す。